

## 市民参画促進活動企画案

### 目的

限られた期間内で、できるだけ多くの市民の自治基本条例に対する認知度を高め、骨子案や素案に対する理解を促進するとともに、さらに市民の意見を収集し、答申案に活かすことを目的とします。

自治基本条例に対する認知・理解度の向上  
越谷市自治基本条例骨子案・素案への理解促進  
越谷市自治基本条例骨子案・素案に対する意見の収集と答申案への反映

### 基本方針

一般市民に対する広報・啓発活動  
地域レベルでの説明会・懇談会等  
各種団体との合同懇談会  
議会議員、市職員等との個別懇談会  
各種機会における簡易アンケート調査（上記活動にあわせて）

### 実施方針

一般市民に対する広報・啓発活動

- ・垂れ幕の制作・市役所での掲示
- ・ホームページによる情報発信・意見収集・アンケート
- ・チラシ、ポスターの制作・掲示（地区センター、公共施設、駅等）
- ・広報紙での特集記事掲載（骨子案、素案）
- ・自治基本条例ニュースの発刊
- ・街頭（駅頭など）でのチラシ配布、街頭アンケート（幟、Tシャツ等の制作）
- ・パブリシティ（マスコミの活用）
- ・各種団体や地域からの要請に応じた出前講座（フリップ、紙芝居等の制作）

### 紙芝居の作成例

タイトル「こねこのコッシー」

3部構成 第1部「コッシーと仲間たち」テーマ：13地区の仲間たちの紹介

第2部「コッシーの冒険」テーマ：仲良く楽しくみんなでルールづくり

第3部「コッシー共和国」テーマ：みんなで力をあわせて国づくり

各部6枚（タイトル1枚+5枚）

上演時間 18分～30分

地域レベルでの説明会・懇談会等

骨子案段階

- ・ 13 地区センター単位での各種コミュニティ関連団体や地域住民を巻き込んだイベント、説明会、意見収集、会場アンケート調査（認知度・関心、骨子案への意見等）
- ・ コミ協関連組織、地区公民館活動団体からの動員、地域住民への呼びかけ
- ・ プレイベント（地元中学校吹奏楽部演奏・各種発表）～開会・あいさつ～紙芝居（街頭でも実施可能）・寸劇による理解促進～自治基本条例解説・骨子案説明～質疑・会場インタビューの流れ
- ・ 各部会から手分けして地区別チームを組織化
- ・ 各地区 100 名程度の参加者を目標とする

地区センター（地区により小学校等体育館利用）での基本プログラム（100～120分）

プログラム	内容（例）	所要時間
プレイベント	中学校吹奏楽部演奏 太鼓演奏 子どもソーラン演舞 その他地域住民による発表 等	10～30分
開会・あいさつ	主催者あいさつ コミ協・センター所長あいさつ	5分
紙芝居・寸劇	自治基本条例とは？をやさしく解説	25分
自治基本条例骨子説明	自治基本条例とは～経緯～骨子案の説明	30分
質疑応答	会場からの質疑応答、意見表明 インタビュー方式による意見聴取	30分

素案段階

- ・ 北・中央・南の3地域単位での部会別討論会（13地区センター単位での参加者等）に出席を依頼し、あらかじめ意見書を提出してもらい実施）

各種団体との合同懇談会

骨子案段階

- ・ 懇談会形式による各種団体（産業関連団体（商工会、JA、JC、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、法人会、同友会等）、テーマコミュニティ（NPO、ボランティア、福祉関連当事者団体、教育・文化関連団体等）、学生（中高生、大学生）などから代表者）に出席依頼
- ・ ほっと越谷を通じた登録団体への呼びかけも検討
- ・ 団体の種別に20～30名規模の懇談会を実施（産業関連、まちづくり・福祉関連、教育・文化関連、学生関連、ほっと越谷関連など）
- ・ 進捗状況の報告、骨子案の説明、意見聴取
- ・ 各部会から手分けして団体種別チームを組織化

議会議員、市職員等との個別懇談会

骨子案段階・素案段階ともに

- ・議会議員との懇談会（進捗説明、意見交換）
- ・市職員代表（係長・主査級中心）との懇談会（進捗説明、意見交換）
- ・各部会から手分けしてチームを組織化（議会、行政運営担当部会中心）

各種機会における簡易アンケート調査

- ・会場等での調査票記入（意見聴取のひとつとして活用）
- ・街頭でのシールマーキング